

私の探鳥地（22）（野鳥だより 89号 1992年9月）

恵庭

富田 寿一

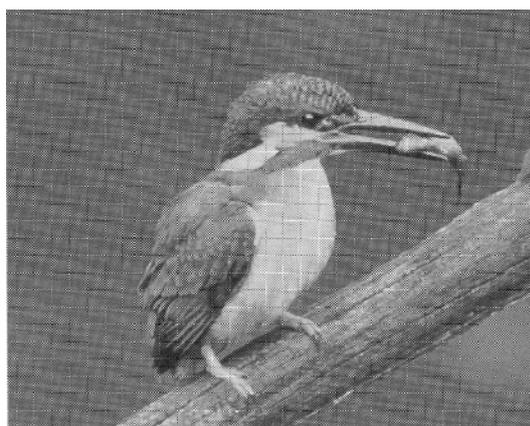
鳥の知識については、まだ未熟な私ですがフィールドとしている恵庭市内の探鳥地について紹介します。

恵庭市街地に最も近い探鳥地が恵庭公園です。森林の鳥を主に一年中観察できます。春から夏にかけて公園内の歩道がそのまま探鳥コースとなり、鳥たちの美しい声に包まれての森林浴ともなります。秋は紅葉を觀賞しながら、冬は歩くスキーでの探鳥は気分がいいものです。

公園内は静かで、大きな樹木も豊富に残されていて探鳥に最適といえます。

次に恵庭市内を流れる千歳川とその支流の漁川と島松川をフィールドとしています。放水路問題の千歳川ですが、渡りの水鳥達が羽根を休める場所があります。舞鶴橋から広島町の近くにある北島にかけてが最も多く集まります。多い年は数万羽にもなり、2年前にはテレビでも紹介されました。珍客も時折り姿を見せ、昨年11月に私はタゲリを2度見ることができましたし、今年の冬はユキホウジロの群れも訪れてくれました。

次に島松川ですがカワセミの営巣地として知られています。去年はテレビ局も撮影に入りました。昨年まではヤマセミも営巣していましたが今年は姿を見せませんでした。漁川の上流には、恵庭湖と名前がついたダムがあり、その近くに自然公園がありますが、野鳥の観察施設もあり探鳥に適した公園となっています。森林の鳥が結構楽しめます。この他、漁川の支流に茂漁川という川があって私の家から70mほどの所を流れています。この川は昨年「ふるさと



カワセミ 4. 6. 20 富田

の川公園」として、国の指定を受けその一部の川幅を80mほどに広げ、子供達が水遊び出来るよう浅瀬にしました。子供達とともに水鳥連も来て欲しいと思っていますが、7月にチドリ群れを見かけましたので期待できます。しかし、川幅を広げた分だけ雑木林がなくなり、昨年まで営巣してヒナを誕生させてきたキジのファミリーとミソサザイの姿が途絶え

ました。

恵庭市内の私の探鳥地について簡単に紹介しましたが恵庭で最も印象深い鳥としてあげるとすれば、私はオオジシギをあげます。5月の早朝まだ暗い内からディスプレイ飛翔の羽音で安眠妨害になる程です。市内の中学校の校章デザインにも使われています。

機会があったら恵庭の鳥達も訪ねてやって下さい。